

# ほけんだより 3月

第11号  
平成29年3月1日  
水戸市立双葉台小学校

3月に入り、1年間のまとめの時期になりました。6年生は卒業に向けて、1～5年生は進級に向けて学習に励んでいる様子がみられます。

幸い、本校では2月はインフルエンザや他の感染症の流行も見られず、子どもたちは元気に登校しています。しかし、2月中旬から花粉症の症状を訴える児童が増加しており、目のかゆみやくしゃみ、鼻水に悩まされている児童が多く見られます。症状がひどいと授業にも集中できなくなることがありますので、お子さんの花粉症の症状がひどいときには、早めに耳鼻科や眼科等を受診し、症状を和らげてあげることをお勧めいたします。



- 健康生活の反省をしよう。
- 安全生活の反省をしよう。



## 3月の保健安全行事

- 13日(月) 登校班集会(5校時)、一斉下校
- 24日(金) 修了式、一斉下校



## 教室等空気検査の結果から

2/22(水)、薬剤師の菊地桂子先生においでいただき、6年2組教室の空気検査を実施しました。6年生は体が大きくなっているため肺活量が多く、教室を閉め切っているとあっという間に二酸化炭素濃度が基準を超えてしまうので、こまめな換気が必要であることをご指導いただきました。

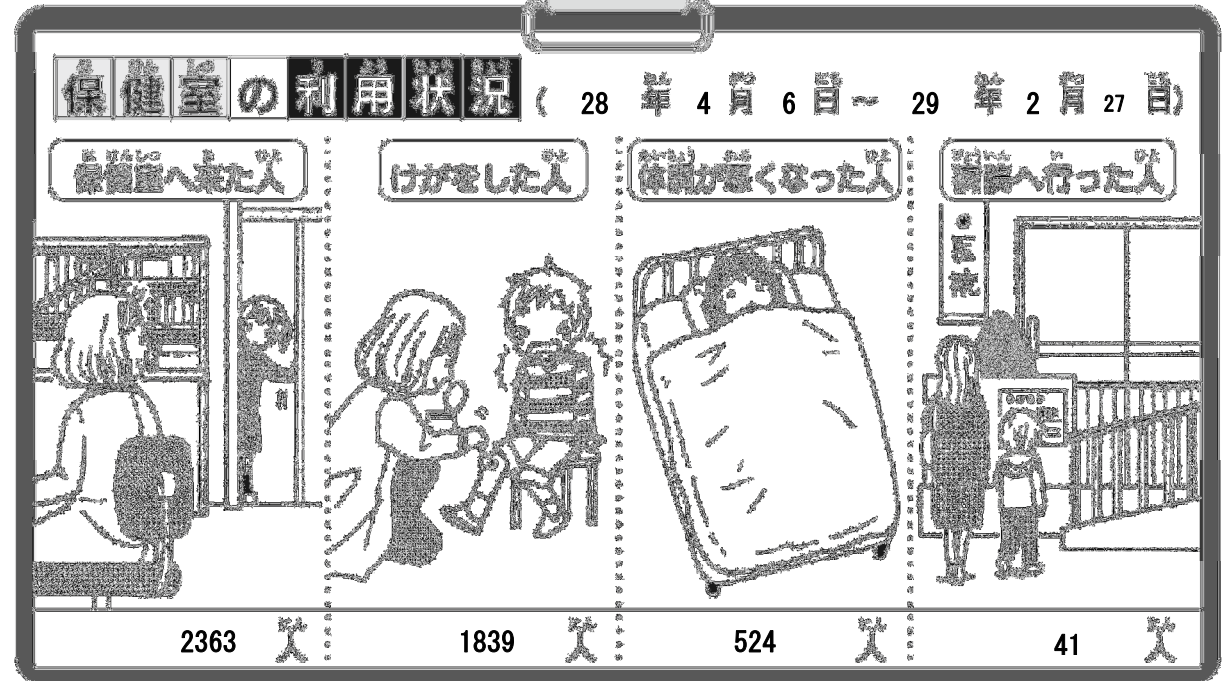
※ご指導いただいた内容は次のとおりです。

- 授業中は、教室の廊下側上部の窓を常時開けておく。
- 休み時間には、廊下側と運動場側ドア及び窓を全開にし、換気をする。
- 教師が教室に入ったとき、空気のだよんだ感覚があったら、すぐに換気をする。



また、最近の住宅はエアコン使用が主流で、また自動換気システムを備えた住宅も多いため、家庭で窓やドアを開けての換気を行う機会が減っており、児童が普段の生活で換気を意識する機会が減っているとのこと。学校や家庭で大人が換気的重要性を理解し、子どもたちの前で実践していかないと、今の子どもたちが換気について学ぶことができなくなってしまうというお話をいただきました。花粉症の時期は換気が難しいですが、閉め切った部屋の空気の汚れについて、ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

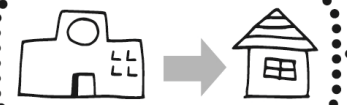
## ★保健室の1年間★



©少年写真新聞社 2017

### 保護者の方へ

#### 「受診のお知らせ」再確認のお願い



本年度も、お子さんの心身の健康や発育・発達のための取り組みに際して多くのご協力・ご助言をいただき、誠にありがとうございました。

間もなく春休み、そして新年度に入りますが、本年度の定期健康診断の結果に基づいて配付した「受診のお知らせ」について、現時点で受診・治療の経過をお知らせいただいていないものがあります。

学校の健康診断はスクリーニング(ふるい分け)のため、受診の結果『異常なし』となることもあります。お知らせを受け取っている場合は、内容をご確認のうえ医師の診察・治療を受け、学校までご連絡いただければ幸いです。とくに、むし歯など自然治癒が見込めないもの、詳しい検査が必要とされたものについては、なるべく早めにお子さんを医療機関にお連れいただければと思います。